

1

次の文章は、高校二年生の「レオ」が、クラスメイトの「オータ（星桜太）」と会話する場面です。アメリカ人の父と日本人の母をもつ「レオ」は、来日して日本の高校に転入しました。「レオ」のクラスでは文化祭に向けて、太平洋戦争当時の白黒写真をカラー化するプロジェクトの準備を進めています。アメリカで育った「レオ」は、日本に対して罪の意識をもつよう強いられいるように感じ、準備をサボっては「オータ」とマクドナルドに来るようにしました。これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。なお、設問の都合上、一部省略した所があります。

「^①オータは、どうしてクラスの子達がいい好きかないの」

もしして、クラスメイトの中には、彼に「放射能」という言葉を投げつけた人間がいるのだろうか。彼が語らなかったこと——「いじめ」というスケールの小さな言葉に収められがちな、^②侮辱や暴力や差別のようなものを。

「テレビの取材まで入っちゃってさ、どいつもこいつも大層なことをしてるって優越感に浸ってるじゃん。そのくせ、いざ自分の言葉で何か語ってみろってなったら、『戦争は二度とやってはいけない』『私達が戦争の悲惨さを伝えていかないと』なんてテンプレートみたいなことしか言わないよ、絶対に」

カラカラに揚がったボテトを指揮棒のように振って、桜太は続ける。

「あいつら、戦争なんて大昔の馬鹿な人達や、海の向こうの物騒な国の人達がやるものだって思ってる。自分達が巻き込まれることは絶対ないって」

「どうして、そう思うの？」

弄ばれて冷め切ったボテトを口に詰め込み、塩塗れの指先を握り込んだ。ささくれでもあったのか、塩気がびりりと^③染み

「関東に暮らしてる人間のための電気を作ってた原発で事故が起こって、関東に避難してこなきゃならなかった俺達を白い目で見て嫌がらせできる連中が、うじゃうじゃいるんだよ。ごくごく普通の暮らしを営む善人でーすって顔で。受け入れたくないものが自分の生活に侵入してきたら、『これが普通の反応です』って顔して石を投げつけるんだ」

桜太がフライドポテトをひよいと口に放る。そんな風に軽やかに^④たわむれのように彼は石を投げつけられたのかもしれない。

「戦時中にさ、日本にいた外国人が差別されたり、海外にいた日本人が収容所に送られたりしたっていうじゃん？ あれって、そういう感じじゃないや。自分もつといい聞き手だったら、きっと、こうはならなかったのに。(中略)

もし、世界中のマクドナルドを探したら、今この瞬間に同じようなことを語らっている人に会えるだろうか。

「同じ教室とか、同じ街にいる人間すら大事にできないんだから、そりゃあ戦争だって起こる。戦争っていう形じゃなくても、同じくらい最悪な何かがある、絶対、俺達にもそのうち起こる。そんなこと考えもしないで、自分は思慮深い人間だって顔してるクラスの連中が、俺はいい好きかないの」

桜太は、もうレオには話していなかった。過去の自分なのか、未来の自分なのかわからない。もしかしたら全く別の人にかもしれない。とにかく、目の前のレオではない人に向かって、ぶつりぶつりと言葉を断裁しながら、話す。

自分もつといい聞き手だったら、きっと、こうはならなかったのに。(中略)

「授業をサボったんだって。」

家に帰ったのは七時過ぎだった。リビングに現れたレオに、^⑤母はテレビから視線を離すことなく言った。

「あー……うん、サボった」

「先生がわざわざ電話してきたよ」

「やべー奴が叱られる部屋で叱られたから」

その一言に、母はレオ以外の人間の気配を感じ取ったようだった。ソファ越しにレオを振り返り、「一人でサボったの？」と聞いてくる。

「同じクラスの、オータと一緒に」

「息子に授業と一緒にサボるほどの友達ができたらよかった。じゃあなんでサボったのかも教えてくれる？」

なんとなく、サボりたい気分だったんだ。そう言って二階に逃げ込もうかと思ったが、考えた末に母の隣に腰を下ろした。

「ねえ、母さん。今日、オータとたくさん話をしたんだけど、その話をしてもいい？」

すぐさま頷いた母に、まずは原爆投下のドキュメンタリーをクラスで見たことを話した。そのあと、インタビューを受けたことも。自分の胸に名前をつけれない霧のような感情が渦巻いて、桜太と一緒に準備をサボったこと。それ以来、ちょくちょく同じことをしていること。

今日やつと、霧の正体がわかったこと。

星桜太が、自分のことを話してくれたこと。

「そう、福島の子だったの」

溜め息をつくように、母は呟いた。東日本大震災と、福島原発で事故があったというニュースをフィラデルフィアの自宅で見たとき、母は側にいたレオとアビーをぎゅっと抱き寄せた。母の心がどこかに流れていかないように、レオは母の腰に手を回した。

母の生まれ故郷である日本が、日本人が大変な目に遭っている。日本人という漠然とした存在がクラスメイトの星桜太に置き換わっただけなのに、^⑥どうしてこんなにもこんなにも、当時の記憶が胸を痛めつけるのだろう。

「たくさん話してくれたんだ。牛を飼ってたのに、放射能のせいで牧場を閉めたことも。故郷を出てから辛い目に遭ったことも。クラスメイトも、カラー化プロジェクトもいけ好かないってことも」

「あなたを話してもいい相手だと信頼してくれたのね」

信頼なのだろうか。もしそうならば、今日のレオ・ブラウンは、全くもって彼の信頼に応えられなかった。

「何も言えなかったんだ。聞いていいのかもわからない質問と、適当な相槌しかできなかった」

「自分を信頼してくれた友達の前で、あなたは無力感に苛まれたわけね」

彼が他のクラスメイトには差し出さなかったものを、せつなく差し出してくれたのに。^⑦間違いなく自分は両手をかざしたのに、すべて指の間をすり抜けて落ちていった。

それは、無力感ともいう。罪悪感でもあり、羞恥心でもあった。

「そういうときはね、勉強するしかないのよ。相手と同じ経験はできないけれど、知ろうとすることはできるでしょ。知ったからって彼の気持ちがすべ
てわかるわけがないけれど、きつと、寄り添おうと頑張ることを、許してくれる」

母の手がテレビのリモコンに伸びる。動画配信サイトで、ドキュメンタリーのカテゴリーを検索した。
「これ、母さんも前に見たことがあるの」

見てご覧と言いつつ、母は飲みかけのマグカップを持ってキッチンへ消えた。

ソファの真ん中へ移動して、再生ボタンを押した。(中略)

福島で畜産を営む家族を取材した作品もあった。桜太の家と同じように、その家族も原発事故から一ヶ月で牛を手放した。出荷間近だった牛達は、タ
ダ同然の金額で買われていった。

原発事故による風評被害や、避難者に対するいじめにフォーカスした作品を見るのは、少し戸惑った。けれど、食後のコーヒを淹れた両親が「一緒
に見ようか」とリビングに来てくれて、レオは再生ボタンを押すことができた。

「放射能がついている」とクラスメイトからも担任からもバイ菌扱いされた子。「家がなくなって金がないんだ」と貧乏人扱いされた子。逆に「賠償
金をもらってるだろ」と金品を要求された子。いろんな子がいた。避難者いじめが原因で、十年以上たった今も社会に出られないでいる子も、いた。

「今日はそろそろ終わりにしよう」

ドキュメンタリーが終わったタイミングで、母が声をかけてきた。「何本も一気に見ると、さすがに疲れちゃうな」と背筋を伸ばした父から、パキン
と破裂音がした。

「こんなことでさ」

膝を折り曲げて、ソファに寝転がった。母の座っていたあたりは温かった。

「こんなことで、寄り添わせてもらえるのかな」

「そもそも、寄り添うとはどういうことなのだろう。」^④ どれほどの距離まで近づけば、寄り添うことができるのだろうか。

(出典 額賀澤『モノクロの夏に帰る』)

(注) 「放射能」という言葉を投げつけた——「オータ」は、東日本大震災で原子力発電所の事故があった福島県の出身である。自宅が避難区域に指定

されたため家業の牧場を閉めて避難してきた。その際、当時のクラスメイトから「放射能」と言われたこ
とを、本文より前の場面で「レオ」に伝えている。

テレビの取材——この時、カラー化プロジェクトの様子を、テレビのドキュメンタリー番組が取材していた。

テンプレート——よく使われる決まった言い回し。

アビー——「レオ」の姉。

(1) ————の部分⑥、⑦の漢字の読みを書きなさい。

(2) 「オータは、どうしてクラスの子達がいけないの」とありますが、それに対する「オータ」の返答をまとめた次の文の ☐X、☐Y に
入れるのに適当なことを、文章中からそれぞれ八字以内で抜き出して書きなさい。

クラスの子達は、実際には自分の言葉で語れるほどの深い考えをもっていないのに、自分達が世間から評価されるようになりつばなことをしてい
ると、☐X いる。また、異質なもの ☐Y してきた途端、平然と暴力的な言動をしてしまえる自分達の非道な一面をまったく自覚せず、
自分達は戦争とは無関係な善人だと思いつ込んでいるから。

(3) 「母はテレビから視線を離すことなく言った」とありますが、これ以降の「母」について説明したものとして **適当でない**のは、ア～エのうちでは
どれですか。一つ答えなさい。

ア 息子の言動にさりげなく注意を払いつつ、状況を正しく把握しようとしている。

イ 息子のことを信じており、頭ごなしに叱ることはせずに事情を聞こうとしている。

ウ 息子に話を合わせて共感を装いながら、最終的には自分の考えを押し付けている。

エ 息子に一つの提案をした後は、必要以上に介入せず息子の意思を尊重している。

(4) 「間違ひなく自分は両手をかざしたのに、すべて指の間をすり抜けて落ちていった」とありますが、それはどういうことを説明した次の文の
☐X、☐Y に入れるのに適当なことを、☐X は文章中から七字で抜き出し、☐Y は三十字以内で書きなさい。
オータは自分を ☐X からこそ、辛い過去や素直な心の内を自分だけに話してくれたのに、自分は ☐Y ということ。

(5) ①「どれほどの距離まで近づけば、寄り添うことができるのだろう」とありますが、ここでの「レオ」の心情を説明したものとして最も適当なのは、
ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 避難者の過酷な実態を知ってますます無力感が募り、どうすればオータの心に寄り添えるのかが分からず途方に暮れている。

イ 事故が起きた当時の映像を見て事の重大さに初めて気づき、自分ではオータの心に寄り添えそうにないと諦めかけている。

ウ 避難者いじめの実例を知って怒りがこみ上げ、傷ついたオータの心に寄り添わなければならないと使命感に駆られている。

エ 過去の出来事を追体験したことでオータの気持ちがわかるようになり、これからはオータの心に寄り添えると安心してている。

(6) この文章の~~~~の表現の特徴について説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「ポテトを指揮棒のように振って」という直喩表現により、オータが調子に乗ってクラスメイトの悪口を言い立てる様子を印象づけている。

イ 「そんな風に軽やかに：彼は石を投げつけた」という隠喩表現により、オータが突然軽はずみに傷つけられた残酷さを際立たせている。

ウ 「店内のBGMが大きくなった気がした」という聴覚に訴える表現により、深刻な話に疲れたレオが意識を音楽に移したことを示している。

エ 「どうしてこんなにも——」という「——」を用いた表現により、レオの心がかき乱されて思考停止に陥ってしまったことを強調している。

次の文章は、漢詩「春曉」と、それについて述べた文章のそれぞれ一部（Ⅰ・Ⅱ）です。これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。なお、設問の都合上、一部省略した所があります。

著作権の関係上、掲載しておりません。

Ⅱ

末尾の「多少」は曲者（くまもの）です。日本の場合、「多少」といえば少ないニュアンスで用いられています。昔はこれを疑問と見て、どれくらい散ったのだろうかと訳していました。最近が多いことを前提として、たくさん散ったことだろうと推量風に訳しているようです。みなさんはどう教わりましたか。もともと、花がたくさん散ったかどうかは、外（庭）を見ればすぐわかるはずですが、ところが作者はずっと床に入ったままでした。雨風の音も鳥の鳴き声も、みな聴覚に頼っていることに気づいてください。目を覚ましたままではいいのですが、床に入ったまま起き上がって外を見ようとしてもいません。それが春のものの憂（うれ）さ（アンニユイ）なのでしょいか。（中略）

最後にこの漢詩の文字略な訳を二つ紹介しておきます。一つは土岐善麿（とぎ ぜんまろ）の訳詩です。

春あけぼのうす眠り 枕にかよう鳥の声
風まじりなる夜べの雨 花散りけんか庭もせに

「うす眠り」とか「枕にかよう」というのは見事な表現ですね。「庭も狭しとばかりに」ですから、花が⑥と見えていることがわかります。

もう一つは井伏鱒二（いふく ますじ）の訳詩です。

春の寝覚めのうつつで聞けば 鳥の鳴く音で目が覚めました
夜の嵐に雨まじり 散った木の花いかほどばかり

「いかほどばかり」というのは①の意味ですね。いずれにしても漢詩の訳というのは、ここにあげたようにその訳自体が作品としてすばらしくなければ話になりません。

（注）科挙——昔、中国で行われていた官僚の採用試験。

隠者——俗世間を避けて山奥などにひっそりと隠れ住む人。

偶感——ふと頭に浮かんだ感想。

（出典）吉海直人『古典歳時記』

(1) 「^㉑聞啼鳥」に返り点をつけない。

(2) に入れるのに適当な語を、Ⅰの文章の中から抜き出して答えなさい。なお、「朝寝せり」とは「朝寝をした」という意味です。

(3) ㉒ に入れるのに適当な、打消の意味の漢字一字を答えなさい。

(4) ㉓ に入ることばとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 春眠の暁
イ 処処の啼鳥
ウ 夜来風雨の声
エ 花落つる音

(5) ㉔ と ㉕ に入れるのに適当なことばを、Ⅱの文章の中から、㉖ は七字、㉗ は二字で抜き出してそれぞれ答えなさい。

(6) 「この漢詩の文学的な詠を二」」とありますが、この二つの訳詩に共通する文学的表現の特徴として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア 所定の箇所と同じような響きの音を繰り返す押韻^{おうえん}
イ 七音や五音を繰り返すことで快さをもたらす調子
ウ 内面の情緒を具体物に置き換えて表現する象徴
エ 主語と述語の語順を逆にして意味を強める倒置

3 次の文章は、「社会学」という、社会について考える学問について述べたものです。これを読んで、(1)～(6)に答えなさい。なお、設問の都合上、一部省略した所があります。

なぜ社会について考えるのかという疑問に対する可能な別の答え方には、次のようなものもあるだろう。

「社会について考えることは役に立つから」。

では何の役に立つのか。商売の役に立つ。将来設計の役に立つ。損しないために役に立つ。ようするに、なんらかの意味で「役に立つこと」のために役に立つ。

金融制度について知り、考えることは経済活動や金融系企業への就職の役に立つかもしれない。少子高齢化について考えることは、自分の将来設計や新たな市場^㉑、カイクのために役に立つだろう。都市問題について考えることは公務員になるために役立つかもしれないし、自分の暮らす地域の将来のために役に立つかもしれない。差別について考えることは、差別のないよりよい社会を作るために、あるいはまた自分自身が差別のある世界を生き抜いていくために役に立つだろう。社会について考えることは、しばしばいろいろな意味で社会生活上の役に立つ。これは間違いない。

私も、社会学者として自分が考え、言葉にしたものがなんらかの形で他の人びとの役に立てば嬉しいとは思う。だがしかし、私自身は何かの役に立つから社会について考えたり、それをめぐる言葉をつづつたりしているわけではない。ではなぜ、別に誰から頼まれたというわけでもないのに、私は社会について考えているのだろうか。簡単に言えばそれは、㉒ 社会について考え、何かが明らかになつてゆくことが、ある「喜び」の感覚を与えてくれるからだ。では、なぜ知ることが喜びなのか。それは、私がこの社会を生きているとはどのようなことなのか、人が社会を生きるということはどういうことか、私たちがそこで日常的に営んでいることや、そこで直面する問題が、どのような仕組みで存在しているのかを知ることが、「私」と「世界」についての視界をよりクリアにしてくれるからなのだ、と言えるかもしれない。

もちろん、いくら考えたからといって、これですべてわかったということとは多分ない。孔子や古代ギリシアの時代から少なくとも㉓ 二五〇〇年くらいは、人間は世界や社会について学問として考えてきた。それでもわからないくらい、世界や社会も、そこを生きる人間も「わからなさ」に満ちていて、その「わからなさ」の中を、ときにその「わからなさ」を自覚しつつ、けれどもたいしてはそうした「わからなさ」を取り立てて問うことなしに、「わかったこと」にして多くの人は暮らしている。社会について考えることは、何かについてわかるより先に、まずはこの「わからなさ」に気づき、それについて問うことから始まる。そして、この「わからない」ということは、普通の意味では何の役にも立たないことだ。

たとえば、人はなぜ「神」という形も明確な対象性ももたないものを作り出し、それを畏れ、それに従ってきたのか。そもそも「神」というものに具体的な事物のような対象性がないのだとしたら、神を敬い、信じ、神に従うとき、人はいったい何を敬い、信じ、何に従っているのか。あるいはまた、人はなぜときに他の人間の命令や指示に嫌だと思いがちながらも従ってしまうことがあるのか。それ自体は紙切れや金属のメダルにすぎない㉔ カヘイが、なぜ価値あるものとして使用され、流通するのか。しかも、食べ物も衣服も、土地も、労働も、ジェットコースターに乗る楽しさや歌声まで、じつにさまざまに異なるものや出来事が、この紙切れや金属が示す価値で等しく計られ、売り買いされてしまうのはなぜなのか……などなど。

これらの「問い」には簡単に答えることはできないし、なんらかの答えにたどりついたとしても、その答えは多分、普通の意味で「役に立つ」答えではない。にもかかわらず、そのような問いに気づくこと自体が、私たちの生きる社会や世界について知る、一つの知り方である。私たちが通常それとし

て問うことのないさまざまな営みや出来事が、さまざまな謎に満ちたものであることを知ること。それは一つの驚きの経験である。そのとき、日常の風景は、それについて考えるに値するものとして現われてくるだろう。そして、その謎について考えることは、私が生きる世界や社会について、そしてまたそれを生きる私たちについて、より深い了解や認識に達するということだ。ちょうど山登りで苦しい坂道を過ぎ、頂上ではないけれども展望の開けた場所に出たときに、そこに広がる新たな視界に新鮮な驚きを感じるような興奮と感動が、確かにそこにはある。(中略)

だが、社会について考えることは、ときに社会を「うつとりと生きる」ことを難しくすることもある。なぜならそれは、私たちが当たり前のものとして生きている考え方や役割、ルールといったものをときに否定したり、相対的なものにしてしまおうからだ。

「うつとりと生きる」というのは、自分がしていることや置かれている状況について取り立てて反省することなく、そこにすっぽり入り込んで楽しんだり、喜んだり、あるいは悲しんだりすることだ。ある状況や行為に「内在すること」と言ってもいい。

たとえば、多くの現代人にとって「恋愛」というものは、一定の年齢になれば大抵の人が、「片思い」や「失恋」という形であれともかくも経験するもので、ごく自然な感情の現われであるということになっている。「いくつになっても恋愛したい」といった言葉を雑誌や新聞の紙面などで見ることがあるように、それは人間にとって本来的な感情の現われで一般に好ましいもので、できることなら素敵な恋愛をし、成就したいものと考えられている。だが、このように「自然な感情である恋愛が、じつは特定の時代の特定の社会でのみ「自然」と考えられている感情であるとしたらどうだろう。恋愛や友情も、親子の情といった感情も「自然な感情などではなく、社会の中で形作られた感情の形である」というのは、現代の社会学や歴史学ですでに常識になっている。「恋愛する」とは、そのように作られた感情の鑄型の中に自分の感情を流し込み、意味づけ、あたかもそれが「自然」であるかのよう

うに生きることに他ならないとしたら、あなたはもう恋愛という関係を「うつとりと生きる」ことはできなくなるかもしれない。もちろん、「社会について考えること」と「社会を生きたること」とはさしあたり別ではある。だが、「社会を生きたることについて考える」という部分を自分の中にもったとき、人はつねにどこかで自分や、自分の生きる社会について反省的に考える契機をもつことで、実際に生きることに対する距離や落差を感じ続けることになるだろう。

その一方で、この「うつとりとできなくなること」は、ときに人を自由にする。社会というのはなかなか巧妙なもので、ときに理不尽なことを「正しいこと」であるかのように見せる仕組みをもっている。暴力的な親や配偶者に従うことを「孝行」や「愛情」だと思ってしまうこと。自分に責任のない差別や不利益を、自分の能力や運のなさによるものだと思ってしまうこと。社会について考えることは、そうした理不尽から人を目覚めさせる可能性をもっている。そしてまた、そのような理不尽とは異なる関係の可能性を考える力を与えてくれるかもしれない。

(注) 別の答え方——筆者はここより前の文章で、「人間は社会の中で人びととともに生きているから」という答え方を取りあげて論じている。そのため、ここでは「別の」という言い方をしている。

孔子——古代中国の思想家(紀元前五二〇年〜紀元前四七九年)。

相対的——他との関係や比較のうえに成り立ち、絶対的ではないさま。

鑄型——溶かした金属を流し込み、特定の形状を作るための型。ここでは比喩的に用いられている。

契機——きっかけ。

(1) ———の部分①、④を漢字に直して楷書で書きなさい。

(2) 「もう」と同じ意味で用いられているのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア もう一步前に進む。 イ 彼はもう来るだろう。 ウ 気づけばもう夜になっていた。 エ 自慢話にはもううんざりだ。

(3) 「社会について考え、何かが明らかに becoming することが、ある『喜び』の感覚を与えてくれる」とありますが、ここでの筆者の考えを説明した次の文の X、Y に入れるのに適当なことをばき、それぞれ文章中から五字以内で抜き出して書きなさい。

世界や社会やそこを生きる人間についての「わからなさ」に気づいてそれを改めて問い直すことで、より深い X に到達することができる。そのとき自分と世界についての視界がよりクリアになり、新鮮な驚きを伴った Y がもたらされる。

(4) 「『恋愛』というもの」とありますが、筆者がこの例を挙げて言おうとしていることを説明した次の文の に入れるのに適当なことをばき、三十文字以内で書きなさい。

現代において「恋愛」は、ごく自然な感情の現われとして肯定的に捉えられているが、現代の社会学は、それが ことを明らかにする。このように社会学は、人びとが当たり前のものとして受け入れている物事を、否定したり相対化したりして、人びとの意識を変容させるということ

(5) 「『うつとりとできなくなること』は、ときに人を自由にする」とありますが、その説明として最も適当なのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 社会について考えて有益な知識や考え方を身につけることで、それを自分の将来に役立て思い通りの生活を営むことを可能にするということ。

イ 正しいと思ひ込み従ってきた考え方やルールなどを省みることで、その理不尽さに気づき不当な被害から逃れることを可能にするということ。

ウ 社会にひそむ理不尽さを見過さず反省することで、それまでのルールや役割を見直して全ての責任を放棄することを可能にするということ。

エ 自分の行為や置かれている状況に何の疑問も持たず受け入れることで、その生活こそが正しいと満足して楽しむことを可能にするということ。

(6) この文章の表現や構成の特徴について説明したものととして適当でないのは、ア、エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 社会について考える理由を述べる際に、一般的な答え方を紹介した後でそれとは対照的な筆者の考えを提示し、自説を浮き彫りにしている。

イ 「ではうのか(のだろう)」と短く問いかけをしては、それに答えるという形を何度か繰り返し、論点と筆者の考えが伝わりやすくしている。

ウ 「ちようどうような」などの比喩表現や複数の具体例を用いて、読者の想像や思考を助け、筆者の考えに納得しやすくなるよう工夫している。

エ 文章の前半で社会について考えることの利点を述べ、後半では欠点を指摘するという構成をとり、筆者の考えの二つの側面を明示している。

4

三人の中学生が、【資料Ⅰ】・【資料Ⅱ】を見ながら「言語コミュニケーション」について話し合いをしています。次の【話し合い】を(1)～(3)に答えなさい。

【話し合い】

この前ニュースで、用法が揺れている日本語について取り上げられていたよ。二人は、「失笑する」とはどういう意味だと思っているかな。

私は、「こらえきれずに吹き出す」という意味だと思う。つまり、ちよつと笑ってしまう感じじゃないかな。

僕は逆だな。「あきれてもう笑う気にもならない」という意味だと思う。

本来の意味は千明さんの言っていた方だよ。でも、【資料Ⅰ】を見ると、最近の調査では、

a

そうなんだ。本来とは異なる意味がこんなにも広まっているんだね。

僕と千明さんが「失笑する」を使って会話していたら、話がかみ合わなかったということだね。

そうだね。言葉でコミュニケーションをとる時には、注意が必要だね。【資料Ⅱ】では、言葉を使うとき「正確さ」「分かりやすさ」「ふさわしさ」「敬意と親しさ」の四要素を意識することが大切だと指摘しているよ。

もう少し詳しく考えてみたいね。

たとえば、「正確さ」は誤解が生じないような言葉を用いること、「分かりやすさ」は相手が理解しやすいように、言い換えたりたとえを用いたりすることだね。「ふさわしさ」は場面や目的に合わせた言葉づかいをすること、「敬意と親しさ」は相手との関係性を考慮することだと思う。

どれも大切なことだね。四つの要素を意識していれば、皆がクラスメイトの前で発表する時に、仲間内だけで通じる言葉づかいをやめて、「です」

「ます」を使った丁寧な表現をするよね。

たしかにそうだね。「分かりやすさ」に関してはどのような工夫ができるだろう。

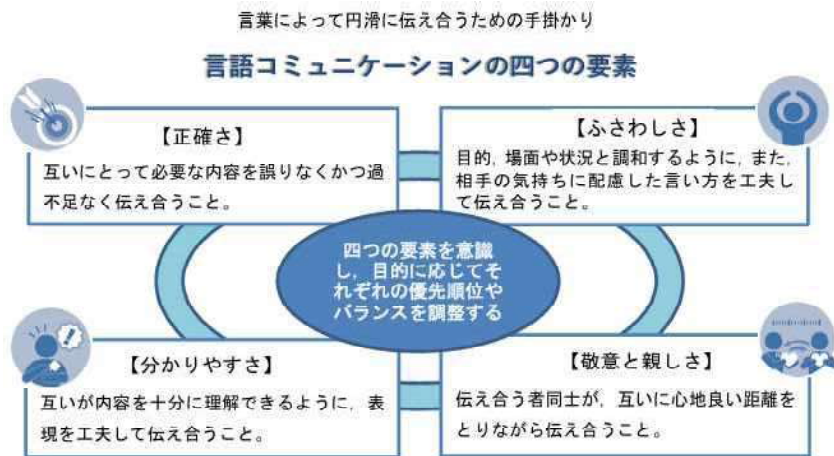
今、日本で暮らす外国人がどんどん増えてきているよね。たとえば、地震が起きた時に、日本語に不慣れな外国人に、「地震が発生して津波の恐れがあるので速やかに高台に避難してほしい」と伝える場合、どうすれば分かりやすいかな。

【資料Ⅰ】「失笑する」は、どちらの意味だと思うか（数字は％）

	令和5年度	平成23年度
(ア) こらえ切れずに吹き出して笑う	26.4	27.7
(イ) 笑いも出ないくらいあきれる	67.0	60.4
(ア) と (イ) の両方	3.1	2.7
(ア)、(イ) とは、全く別の意味	3.0	4.1
無回答	0.6	
分からない		5.2

（文化庁「令和5年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」を参考に作成）

【資料Ⅱ】



（平成30年 文化審議会国語分科会「分かり合うための言語コミュニケーション（報告）」を参考に作成）

(1) ④ に入れるのに最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 本来とは異なる意味で認識している人の割合が、過去の調査結果よりも低くなっているね。

イ 本来とは異なる意味で認識している人の割合が、過去の調査結果よりもさらに高くなっているね。

ウ 本来とは異なる意味で認識している人の割合は、過去の調査結果とあまり変わらないね。

エ 本来とは異なる意味で認識している人の割合が、過去の調査結果とは違って最も高くなっているね。

(2) 【資料Ⅰ】の結果をふまえたときに、言語コミュニケーションで特に気をつける必要があるものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 言語コミュニケーションにおける「正確さ」の要素。

イ 言語コミュニケーションにおける「分かりやすさ」の要素。

ウ 言語コミュニケーションにおける「ふさわしさ」の要素。

エ 言語コミュニケーションにおける「敬意と親しさ」の要素。

(3) 日本語に不慣れた外国人に、避難指示を分かりやすく伝えるために、あなたはどのように言い換えればよいと考えますか。あなたの考えを**条件**に従って八十字以上百字以内で書きなさい。

条件

1 まず、「地震が発生して津波の恐れがあるので速やかに高台に避難してほしい」を言い換えた表現を日本語で書くこと。
ただし、「地震」「津波」の語は、そのまま使ってよろしい。

2 次に、言い換える際にあなたが工夫した点を書くこと。